



林芙美子 ヨーロッパから帰国後転居した、下落合の和様式洋館にて(昭和7年頃)

林芙美子は『放浪記』や『浮雲』などの傑作のほか、『清貧の書』『晚菊』『骨』など珠玉の短編小説を遺しました。その林芙美子にちなみ、短編作品を対象とした「林芙美子文学賞」を創設します。この新しい文学賞をきっかけとして、新たな文学の才能が世に羽ばたくことを期待し、広く全国から作品を募集するものです。

「林芙美子文学賞」創設にあたって

「心を噴きあげるようないい作品を書きたい」と願った林芙美子は、生涯庶民に寄り添い、庶民的作家として昭和の激動期を駆け抜けました。

林芙美子は1903年、行商人の子どもとして門司に生まれます(下関生誕説あり)。その後、尾道の高等女学校を卒業して上京。関東大震災や世界恐慌による不景気で定職にも就けず職を転々とするなか、彼女を支えたのは書くことでした。

「書いている時間が、私の賑やかな時間であった。男に捨てられた事も忘れたし、金のない事も、飢えている事も忘れた」と。このころに書いた「放浪記」が思いがけずベストセラーとなり、その印税で欧州にも行きますが、時代は日中戦争から太平洋戦争へと向かう暗い時代でした。

「ペン部隊」の一員として従軍しますが、敗戦。庶民的心情から戦争協力を惜しまなかった過去への自責と阿責の念が、時代の証言者としてペンを執らせます。

戦後の悲惨な現実と、人間の過酷な運命を描きながらも、その作風は生の深みに思いを潜め、しみじみと味わい深いものとなっていきました。

ひたすら書き続けた芙美子は1951年6月28日急逝。47歳。

芙美子の作品は、時代や運命に翻弄されながらもたくましく生きようとする人々を支え、勇気づけ、今日まで読まれ続けています。

文学の力を信じて、林芙美子文学賞を創設しました。

原稿送り先・お問い合わせ

〒803-0813 北九州市小倉北区城内4-1
北九州市立文学館「林芙美子文学賞」係
TEL.093-571-1505
FAX.093-571-1525

林芙美子文学賞

審査に関するお問い合わせには、一切応じられませんのでご了承ください。

北九州市印刷物登録番号 第1408030F号

【選考委員】

井上 荒野
角田 光代
川上 未映子

林芙美子
はやしふみこ
文学賞

大賞

「婦人公論」に作品掲載
賞金100万円

●佳作(数編) 賞金10万円

第1回 林芙美子文学賞

作品募集

主催◆北九州市 協力◆中央公論新社

《応募資格・応募様式等》

◆**応募資格** 年齢、性別、職業、国籍などは問いません。

◆**応募様式等**

- ・ 筆者オリジナル未発表作品。
- ・ 四百字詰め原稿用紙50枚以内の日本語作品。
- ・ 原稿は横長A4サイズのみです。
- (1) 手書き原稿の場合はA4サイズ縦書きの400字詰原稿用紙を使用
- (2) ワードプロ原稿の場合は原稿用紙を用いず、横長A4サイズの白紙に縦書きで1ページ40字×30行とし、原稿用紙換算枚数を記入してください。両面印刷は不可です。
- ・ 文献、資料等を引用した場合は出展を明記してください。

- ・ 本文には通し番号(ページ数)を入れてください。
- ・ 同封の応募用紙に必要事項を記入の上、作品と一緒に送って下さい。応募用紙がない場合は、作品に表紙をつけ、①題名、②氏名(ペンネーム使用の場合は本名を書き添えて下さい)、③住所、④電話番号、⑤E-Mailアドレス、⑥年齢、⑦性別を記入してください。(題名、氏名にはふりがなをつけてください)
- ・ 手書き原稿、ワードプロ原稿ともにオリジナル原稿とし、コピー原稿は不可とします。
- ・ 原稿は紐で綴じてください。(ホチキス・糊留め等不可)

●募集要項及び応募用紙は北九州市立文学館のホームページからもダウンロードできます
<http://www.kitakyushucity-bungakukan.jp/>

◆**賞**
大賞(1編)… **「婦人公論」に作品掲載**
賞金100万円

佳作(数編)… **賞金 各10万円**

◆**募集締切**

平成26年 **9月30日(火)** まで(当日消印有効)

◆**入選作発表**

平成27年1月下旬に発表。
 応募者には文書等で通知します。

◆**注意事項**

- (1) 製本したものは受け付けません。
- (2) 応募期間終了後の変更は受け付けません。
- (3) 作品は返却いたしません。必要な人はコピーをとってください。
- (4) 手書きの場合は、読みやすい字で、消えにくいものでお書きください。鉛筆書きの原稿は不可とします。
- (5) 原稿用紙にワードプロ打ちはしないで下さい。ワードプロ打ちの場合、原稿用紙の枠を印字しないでください。
- (6) 応募された方の個人情報は、本文学賞以外の目的に利用することはありません。
- (7) 過去に新聞・雑誌などの媒体に掲載された作品、または他の文学賞で入賞・入選した作品は未発表の作品とはみなしません。(詳しくはお問い合わせください) 未発表の作品ではないと判明した場合、受賞を取り消します。
- (8) 大賞受賞作の著作権は北九州市に属することとし、出版・二次利用等については北九州市との協議が必要です。

◆**選考委員**



井上 荒野

《主な受賞歴》
 2004年 第11回島清恋愛文学賞(『潤一』)
 2008年 第139回直木三十五賞(『切羽へ』)
 2011年 第6回中央公論文芸賞(『そこへ行くな』)



撮影・三原久明

角田 光代

《主な受賞歴》
 2005年 第132回直木三十五賞(『対岸の彼女』)
 2007年 第2回中央公論文芸賞(『八日目の蝉』)
 2012年 第40回泉鏡花文学賞(『かなたの子』)



川上 未映子

《主な受賞歴》
 2008年 第138回芥川龍之介賞(『乳と卵』)
 2009年 第14回中原中也賞
 (『先端で、さすわ さされるわ そらええわ』)
 2013年 第49回谷崎潤一郎賞(『愛の夢とか』)